

平成26年度 芦別市一般会計予算概要

平成26年度の予算編成にあたっては、「第5次芦別市総合計画」の基本目標に沿いながら、「人と経済」をキーワードとした政策の推進を図るため、市民生活の安全・安心の確保に係る行政サービスの維持向上や地域経済の活性化・雇用対策に必要な事業、消防総合庁舎建設事業に係る予算を盛り込んだところです。

一般会計の予算総額は、104億4,600万円となり、前年度当初予算との対比では、600万円の減、0.1%の減となり前年度を下回る結果となりました。

歳出においては、経常費が95億9,643万7千円（構成比91.8%）で、主に市立芦別病院への経営支援に係る補助金や消防広域化による滝川地区広域消防事務組合負担金などの補助費等や物件費、維持補修費が増加する一方、公債費や人件費の減少により、前年度当初予算対比で5,337万2千円、0.6%の減となりました。

事業費は8億4,956万3千円（構成比8.2%）で、戸籍データ作成業務、健民センター木質チップボイラー設置工事などの事業の終了と、さつき団地建替、林業専用道開設工事などが減少する一方、玉川・青木沢地区無線シス

テム普及支援設備整備工事、勤労者体育センター耐震補強工事などが増加したことにより、前年度予算対比で4,737万2千円、5.9%の増となりました。

歳入においては、市税で固定資産税と軽自動車税の税率の引き下げに伴う減収とともに法人市民税の減収する見込みにより前年度当初予算対比で1億660万9千円、6.5%の減となり、また、使用料及び手数料でごみ・し尿処理手数料の減額により前年度当初予算対比で1,841万4千円、4.3%の減となる見込みとなりました。

地方交付税は、国の地方財政計画の伸び率を勘案し、前年度当初予算対比で5,000万円、1.0%の増を見込み、臨時財政対策債を含む実質的な地方交付税額は前年度当初予算対比で1,600万円、0.3%の増となりました。

なお、歳入が歳出に対し不足する3億7,157万6千円の財源については、北海道市町村備荒資金組合超過納付金を繰り入れ収支の均衡を図ったところであります。